

日本におけるエスペラント受容 —いくつかの事例をとりあげて—

東北大学名誉教授
後藤 斉

2022-11-12
国際基督教大学アジア文化研究所主催シンポジウム
「日本におけるエスペラント受容」

1

概要

- ・ エスペラントは「ザメンホフが創った人工語」という側面から捉えられることが多い。しかし、エスペラントの性質の一部しか伝えておらず、誤解や一知半解による判断・評価につながっている。
- ・ 日本におけるエスペラントの受容に関連しても、多くの事実が知られておらず、日本近現代史のなかでエスペラントが果たした役割は見過ごされている。大きな役割を果たしたとまでは言えないが、様々な分野の多くの場面で橋渡し言語の役割を果たしてきたとは言える。

2

問題意識

- ・ エスペラントは「ザメンホフが創った人工語」という側面から捉えられることが多い。エスペランティストの自己認識、広報、外部からの認識において。
- ・ しかし、エスペラントの性質の一部しか伝えておらず、誤解や過小評価につながっている。「感情を伝えられるか?」、「文学は可能か?」、「文化がない」、「使われていない」、「役にたたない」、「世界の言語を統一?」などの疑問・批判が絶えない。
- ・ エスペラントの社会性をより重視したい。実際の事例を(今回は主に文学から)いくつかとりあげてエスペラントが日本で受容されたさまを例証したい。

3

目次

0. まえおき
1. エスペラントの概要
2. 篠遠喜人
3. 『寡婦マルタ』と『悲惨のどん底』
4. イシガ・オサムと万沢まき
5. まとめ

4

0. まえおき

後藤 斉 ごとう ひとし

1955年仙台市生まれ。言語学研究者

1991-2021年 東北大学文学部・大学院文学研究科(言語学)助教授・教授。

2021年3月 同 定年退職。4月、名誉教授に。

専門分野は言語学、特にロマンス語学、日本語コーパス言語学および語彙の分析、言語学史、エスペラント学など。

5

0. まえおき

ICUとの縁

- ・1982年第6回ICU言語科学夏期講座参加
- ・多くの知人
- ・後述

第2回言語科学国際大会
8月23日(月)~24日(火)
於 国際基督教大学理学館
〔テーマ〕“Language in a Semiotic Frame”
〔講師〕C.J. Bailey (英国)、R. Harris (イギリス)、K. E. F. Koerner (カナダ)、H. Parret (フランス)、F. C. Peng (日本)、F. Poyatos (カナダ)、E. Pulgram (オーストリア)、R. H. Robins (イギリス)
〔金費〕4000円
第6回ICU言語科学夏期講座
〔開講期間〕8月6日(日)~20日(金)
〔講座・講師〕“History of Linguistics up to the present day” (R. H. Robins) / “Language and Nonverbal Communication in Interaction (F. Poyatos) / “Introduction to Romance Linguistics” (E. Pulgram) / “形式言語理論入門” (野崎昭弘) / “Topics in Neurolinguistics” (T. Walsh) / “言語社会学入門” (F. C. Peng)
〔受講料〕一講座につき25000円
第4回ICU神経言語学研究会
8月28日(土)~29日(日) 午前9時半~午後4時

0. まえおき

エスペラント歴51年

それなりの知識や自分なりの深い経験はあが、かなり特殊。また、限定的。

エスペラント経験の様態は人によって違うので、その部分はいくまで参考としてお聞きください。

聴き手 幅広く、想定しにくいが、エスペラントをあまり知らない人を主な対象と考える。

7

私の主なエスペラント関係経歴

- 1971 独習、日本エスペラント学会(JEI)と仙台エスペラント会に入会
- 1970年代 全国合宿(5月)、林間学校(8月)など
- 1980年代 フランスでの学会参加時、日韓青年セミナーなど
- 1982 国際語学研究セミナー(JEI主催、東京、同時通訳)
- 1983 『月刊言語』(大修館)10月号「エスペラント特集」に寄稿
- 1987 エスペラント100周年記念世界大会(ワルシャワ)、
社会言語学シンポジウム(JEI主催、東京、発表・同時通訳)
- 1994 第79回世界大会(ソウル) エスペラント学会議(発表)
- 1998~2013 東京外国語大学でエスペラントの非常勤講師
- 1999~2000 文部省在外研究(ロンドン大学客員研究員)
- 2007 第92回世界大会(横浜) 大会大学学長

8

私のエスペラント関係著作

感想文・報告文、論考、発表、講演など。

<http://www2.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/biblioj.html>

『エスペラント日本語辞典』(JEI, 2006) 編集副主幹 →
『単語力から総合的な語学力へ —エスペラント応用語彙論—』(JEI, 2015)

『日本エスペラント運動人名事典』(ひつじ書房, 2013) 柴田巖と共編 →『人物でたどるエスペラント文化史』(JEI, 2015)

En La Mondon Venis Nova Lingvo. Festlibro Por La 75-Jariĝo de Ulrich Lins (Mondial, 2018)
José Antonio Vergara, Kimura Goro-Christophと共編

9

1. エスペラントの概要

1887年、特定の国や民族に属さない**中立の国際語**として、**ザメンホフ**がエスペラント博士の筆名で『**国際語**』（『**第一書**』）を**ワルシャワ**（ロシア帝国領）で**出版**して提唱。

初めはロシア語版、引き続き、ポーランド語、フランス語、ドイツ語、英語の各言語版。

40ページ + 単語集（約900語）。

例文には手紙の例や「主の祈り」と

聖書の一節のほか、ハイネの詩の訳と

ザメンホフのオリジナルの詩。



1. エスペラントの概要

19世紀末～20世紀初頭 フランスを中心にヨーロッパ各地に広がる

1904 カレー/ドーバーにて英仏両国のエスペランティストの会合

1905 フランス、ブローニュ・シュル・メールにて**第1回世界エスペラント大会**、以後定例化。演説、討議、歌唱、演劇、雑談など音声言語使用。ブローニュ宣言採択

この頃までにエスペラント言語共同体が成立

11

1. エスペラントの概要 日本

1887 ザメンホフ『第一書』

1888 読売新聞で紹介

1903 吉野作造「世界普通語エスペラントー」(『新人』)

1905 第1回世界エスペラント大会

1906 二葉亭四迷『世界語』。黒板勝美ら日本エスペラント協会創立。第1回日本エスペラント大会

1919 日本エスペラント学会(現協会)創立

1965 第50回世界エスペラント大会(東京)

2007 第92回世界エスペラント大会(横浜)

2022 第109回日本エスペラント大会(八王子 + ネット)

12

エスペラント言語共同体の特徴

- ・特定の国や民族、地域という背景がない。地球上に散在(ディアスポラ)。
 - ・第一言語話者は例外的。
 - ・成員の大部分は、ある程度長じてから自らの意思により選択して、第二言語以降として学習して習得した人である。
 - ・語学力や共同体への参加・帰属意識の程度に大きなばらつきがある。
- 成員相互の共通点はあまり多くない。⇒多様性

13

エスペラント言語共同体の弱点

- ・規模が大きい、新規参加者が限定的、高齢化。「多様性」の限界 (ただし、個人で把握しきれないほど多様であることは事実)
- ・国や地域の基盤がなく、実態が見えにくい。先入観で判断し(され)がち (知るには努力が要る)
- ・語学力・帰属意識に大きなばらつき。コアな成員と周辺的成員の乖離
- ・「世界語」としての英語には太刀打ちできない (ただし、国際語の別の在り方としてなら)

14

エスペラント言語共同体の強み

- ・多様性を前提として成り立っている。
- ・成員の多くは国際交流を志向して、自由意思により取り組んでいる。
- ・一般に自主性や相互協力精神、ボランティア精神に富んでいる。

コンピューターネットワークとの親和性

⇒ ネット時代に合った新しい層／使い方

15

エスペラントについての主要参考文献

- ・エスペラント日本語辞典編集委員会編 2017 『エスペラント日本語辞典』第二版 日本エスペラント協会.
- ・後藤斉 2018 「国際語エスペラント 一言語共同体の特性からー」『日本語学』2018年5月特大号.
<https://www2.sal.tohoku.ac.jp/~gothit/nhnggk1805.html>
- ・木村護郎クリストフ・渡辺克義編 2009 『媒介言語論を学ぶ人のために』 世界思想社.
- ・木村護郎クリストフ 2021 『異言語間コミュニケーションの方法 ー媒介言語をめぐる議論と実際』 大修館書店.

16

2. 篠遠喜人 しのおよしと (1895.2.20~1989.9.16)

遺伝学者。理学博士。1943年東大教授、のち名誉教授。国際基督教大の創立準備に関わり、53年開学に際して東大を辞して同大教授となり、71~76年同大学長。日本メンデル協会初代会長、染色体学会初代理事長など。無教会派キリスト者。40年かけて『新約聖書』をだれにでも読みやすいようにと口語訳。

29年頃JEI入会。45~52年JEI評議員。山梨に疎開し、48年2月八代英蔵、市川重一、塚田正勤、八巻信夫、荻原克己らと山梨エスペラント会を結成。エスペラントで論文を書き、自著にエスペラントのタイトルを付した。

17

2. 篠遠喜人

山根 茂	同	町田端1745
竹森 一則	同	316
菊池 豊	同	500
鍋島 惇蔵	同	318
大橋 介二郎*	同	500
篠遠 喜人	練馬町下練馬	4135
持田 喜一郎*	同	町上練馬173
岡本 進	長崎町	4164
廣瀬千代二郎	同	町荒井1902
内田 雄太郎*	同	町北荒井529〔教諭〕
古關 吉雄	同	町五郎窪4167
大石 房次郎	同	町西向2919
初鹿野 潤二	板橋町	065〔社員〕
佐藤 作次*	同	町元瀧の川2444
大熊 善四郎	志村大学前	野82
内藤 豊一	岩淵町	稻村385〔醫師〕
堀 重威	高田町	678秋草工場内
秋田 徳三	同	町雑司ヶ谷22〔文士〕
山崎 郁三	同	35〔學生〕

『財団法人日本エスペラント学会維持員名簿』(1929)
(1926年版には見られず)

18

2. 篠遠喜人

INTERGENRA HIBRIDIGO EN CICHORIEAE, I. HIBRIDOJ DE *Crepis capillaris* KAJ *Taraxacum platycarpum*¹⁾

Y. SATORŪ kaj H. OSO

(kun 4 bildoj)

Intergenraj hibridoj ĝis nun raportitaj estas kompare malmultaj. La aŭtoroj intencis plimultigi la ekzemplon de tiaj hibridoj provante hibridigi diversajn plantojn en Cichorieae, kaj akiris kelke da hibridplantoj, unu el kiuj la hibrido de *Crepis capillaris* (L.) WALL. kaj *Taraxacum platycarpum* DANLST. estas nun priskribata.

La *Crepis*-plantoj suitaj en tio ĉi esploro devenis de Em. Prof. Fuĵi, Tokio Imperia Universitato, kiu ricevita ilin de Prof. Kihara, Kioto Imperia Universitato. La lasta importis ilin el Berlino. La aŭtoroj esprimas kran dankon al la profesoro, kiu bonvolite havigis al ili la plantojn. La *Taraxacum*-plantoj suitaj tie ĉi estis tiuj kreskintaj en Kōsūkawa Botanika Ĝardeno, Tokio Imperia Universitato.

La metodo de hibridigo suita en la eksperimento estis sama kun tio de COLLIN (1922) en *Crepis*: la polvo de la patrina planto estis depolenita per fluenta akvo, kaj poste la akvigo de la pliatilo la poleno de patra planto estis metita al la stigmo. Akvoj tiel akiritaj estis semitaj sur filtrapero malsekigita en Petri-pladeto. Post formado junaj plantoj estis transplantitaj en potojn. Iuj el ili estis metitaj en la vitrokambro, en kiu la temperaturo estis 20-25°C. Ceteraj estis metitaj ekstere. En citologia eksperimento de la hibrido, la radikplantoj estis fiksitaj de la fiksosolvaĵo de KARPEČENKO, kaj tranĉita en pecojn kun diametro de 12 μ. La kolorigo estas farita per hematoxilino laŭ HIRSHMANN.

Crepis capillaris ♀ × *Taraxacum platycarpum* ♂

En 1929 unu(5) el la aŭtoroj unue provis ĉi tiun hibridigon, kaj akiris du akonojn. Ili ambaŭ ĝermis, sed unu el ili estis tre malforta, kaj mortis baldaŭ. La alia kreskadis ĝis la aŭtuno de 1932. Sed ĝi nek aperigis floron nek etendis trunketon. La morfologia aspekto de tio ĉi planto ne estis tute sama kun tio de ĝiaj gepatroj kiel videbla en la figuro (fig. 1), sed ĝi havis kelkajn karakterojn, morfologiajn aŭ fiziologiajn, de la gepatroj. La planto malĉiĝe mortis anstolte per fungo post la transplantado.

1) Contribution from the Division of Plant Morphology and of Genetics, Botanical Institute, Faculty of Science, Tokyo Imperial University, No. 149.
2) La rezultoj estis sentate raportitaj de la lasta numero de "The Botanical Society of Japan" en Marto, 1930.

'Intergenra hibridigo en cichorieae' (小野記彦と共著,
『遺伝学雑誌』日本遺伝学会, 10:3, 1934),
(「タンポ」類に於る属間交雑)

19

国際基督教大学の目標

2. 篠

学長 篠遠喜人

本学は、第二次世界大戦直後における日本の精神的荒廃を憂い、内外の基督教に関係のある人々が、主として日米の教会の信徒たちと、その趣旨に共鳴した財界有志の献身的な援助と、広く全国における有志の支援とを得て設立したものである。日本が戦後の復興を遂げた現在において、本学への期待は創立当初のそれにも増して大きくなりつつあり、この期待にこたえるべく学内の諸改革、内容の充実、発展に鋭意努力中であるが、敎学の基本的精神に変わりはない。一口にいえばそれは、1) 基督教精神に基づき、愛と奉仕との生活を実践すること、2) 国境や人種を越えて友愛と相互理解の精神を体得すること、3) 広い教養をもつとともに高度の学術研究に参加すること、を目標とする次の時代を背負う若い人々を養成するにある。学生に対しては人種・国籍・宗教の別を問わず、本学における



生活を通じて敎学の精神を学び取ることを期待する。創立25年を迎えて、卒業生たちの活躍ぶりも一般の期待にそむかず、各方面から高く評価されている。

「国際基督教大学の目標」『国際基督教大学 案内』(1974)

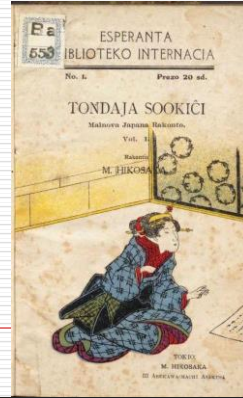
20

彦坂本輔 (1883.2.17~1929.10.14)

生没年月日等は彦坂迪子様(本輔長男の奥様)のご教示による。
初期のエスペラントに独自の貢献をしたが、大きな注目を浴びず
半ば忘れられていた。



Samideano Ĉiumonata誌
 (1908~1910)
 オーストリア国立図書館蔵



Tondaja Sookiĉi
 (1914)
 国立国会図書館蔵

3. 『寡婦マルタ』

清見陸郎(きよみ ろくろう)訳
 『寡婦マルタ』(改造社, 1927)



エリイザ・オルセン著 (最新刊) 定価六圓
 清見陸郎 譯 六圓

讀め女性の悩みを!! 憤りを!!
 『本書を讀んで泣かざるものは人の子に非ず』
 現代の若き女性・教育家・婦人問題研究者は必ず讀め!!
 (讀者より)「読來これはどおしい悲劇小説少讀んだはありませぬ。難書し讀んで
 わたくしは小説讀んで居ても此の力を以て涙が有様わかちませぬと申しな。わたく
 し達の婦人マルタを全く同じです。いと云。今日は何でなくも明日はその前です。小石
 町の女。」

發行所 東京市麹町區内幸町 電話一五八番
 振替東京八四〇二番 改造社

寡婦マルタ

『読売新聞』(1927.12.20)広告

3. 『寡婦マルタ』

清見訳 改造文庫版, 1929

30銭 (「**驚異的廉価!**」)



ザメンホフによるエスペラント訳を介しての重訳と記されぬまま広く読まれ、特に女性に対して大きなインパクトを与えた。



3. 『寡婦マルタ』

中川李枝子(1935生まれ) 『グリとグラ』作者

改造文庫の『寡婦マルタ』を読み通したのも小学2年生のとき。 [...]

主人公のマルタはいい家のお嬢さんで幸せな結婚をしたんだけど、夫に死なれちゃって、自活する術がないものだから墮ちゆくところまで墮ちてゆく、って話なのよ。読めないところはすっ飛ばしながらだけど、それくらいは小学2年生でもわかったの。それで私、この本を読んで「あたしはマルタになりたいくない!」「女は自立しなきゃ」って強く思ったのよ。

『ぐりとぐら』中川李枝子さんの戦後70年「終戦で、生まれ変わったの」
https://www.huffingtonpost.jp/2015/07/31/guri-to-gura-rieko-nalagawa1_n_7909868.html

3. 『寡婦マルタ』

他にも多くの女性に影響を与えた。

佐多稲子、平林たい子、山高しげり、
中里恒子、羽仁説子、升井登女尾、
相沢良、宮本百合子、牧瀬菊枝、
寿岳章子

(クラルテ社、1951)
「宮本百合子激賞」



3. 『寡婦マルタ』

映画『この母を見よ』 監督田坂具隆、脚色八木保太郎、日活、1930

「大体原作の筋を追ふてゐるが、更に飛躍して貧富階級の対立を
明確に描きわけて現代社会機構の欠陥を暗示せんとした」

『キネマ旬報』(1930.6.21)



3. 『悲慘のどん底』

W. Sieroszewski著、Kabe訳
La fundo de l'mizero (1904)

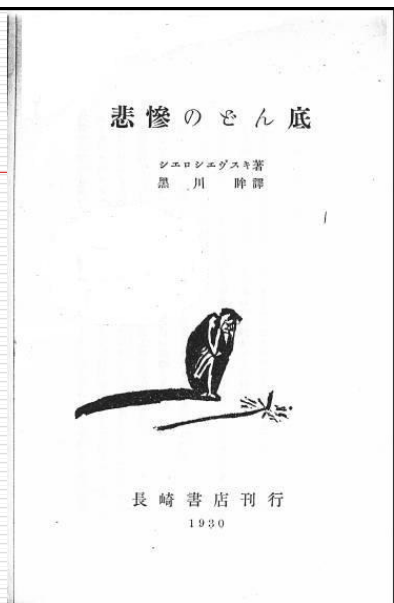
黒川眸(1906~1932.11)訳
『悲慘のどん底』(長崎書店, 1930)

初の、ハンセン病者による作品の
単行本での刊行

別訳として:

和見正夫(=村上信彦)訳

『悲慘の涯』(興風館, 1940)



3. 『悲慘のどん底』

全生(ぜんせい)病院 (現国立療養所多磨全生園)

1929年12月、講習会
終業式の光景

中央わらいつゝ盲人の肩に
手を置くは光田院長、盲人は
山名老人、窓の柱の前白衣の
背の低きは塩沼導手(グビダン
トー)。その後は訳者。
(『悲慘のどん底』より)



ホールクotronラメスエ生全

3. 『悲慘のどん底』

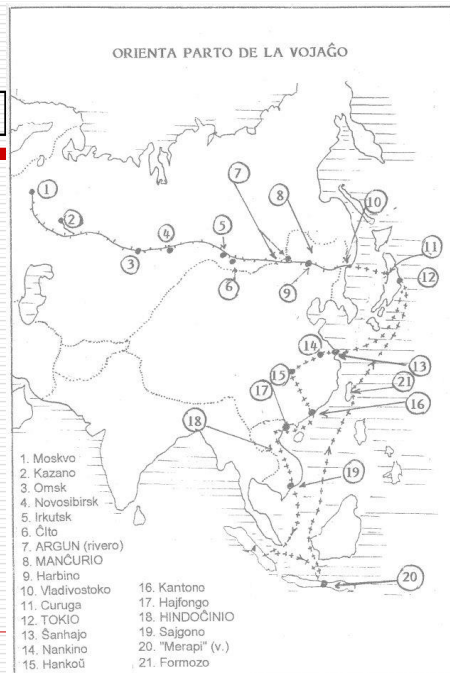
Lucien Péraire (1907~1997)

リュシアン・ペレール フランス人
1928~32年ユーラシア自転車
旅行、その間1930年に3か月
滞日



3. 『悲慘のどん底』

Lucien Péraire



3. 『悲慘のどん底』

Lucien Péraire

のち旅行記 *Tra la mondo per biciklo kaj Esperanto* を刊行

1930年8月23日 全生病院を訪問
「参加者の多くがエスペラントで直接私に質問してきた。」

何時の頃 帰国されむかと 問ふに唯
わからぬと答ふ この放膽さ 黒川眸

Lucien A. PERAJRE

TRA LA MONDO
PER BICIKLO
KAJ
ESPERANTO

SAT-Brosurservo - Laŭtel
FR-47470 Beauville
2007

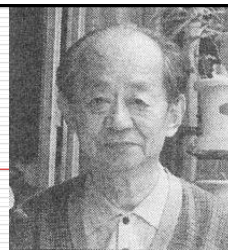
4. イシガ・オサムと万沢まき

戦前・戦中期に、エスペラント訳作品に感動して、原文で読むためスウェーデン語を学び、日本に伝えるために翻訳家になった二人。

イシガ・オサム 1910.4.1~1994.10.17

東大西洋史卒業。キリスト者。ローマ字運動に参加。エスペラントの海外文通で戦争抵抗者インターナショナル(WRI)の存在を知り、1943年に自身も兵役拒否(のち転向)。

1945年5月ハンセン病施設星塚敬愛園(鹿児島)の付属看護人養成所に入り、7月応召して衛生兵に。戦後、復員して星塚敬愛園に戻り、56年まで衛生士として勤務。



4. イシガ・オサム

セルマ・ラーゲルレーヴ(女性初のノーベル文学賞受賞者、『ニルスのふしぎな旅』で知られる)のエスペラント訳作品に親しみ、スウェーデンのエスペランティストの援助を受けてスウェーデン語を学習し、原文から日本語訳して『エルサレム』第1部を刊行。戦後もラーゲルレーヴ作品を翻訳。

- ・『エルサレム』第1部 (1942)
- ・『エルサレム』第2部 (1952)
- ・『キリスト伝説集』(1955)
- ・『ポルトガリヤの皇帝さん』(1981) (いずれも岩波文庫)

4.

Esp. によつて

スウェーデン語を学ぶ

イシガ・オサム

わずかに九官鳥のニツボン語程度の知識を以てスウェーデン語を云々するのは、まことにおこがましい話ですが、それでも学んでいるのは事實であり、また學び始めてから今日まで絶えず Esp. の御厄介になつているのも事實ですから、その意味で「スウェーデン語學習に Esp. がどんなに役立つたか」とゆう問にお答えいたします。

1938年に S-ro O. Frode の譯になる“Infanoj de Betlehem”を Rōmazi-Nippongo に譯したのが Lagerlöf 女史の作品を譯した最初でしたが、この際には Eldona Societo Esperanto (Stock-

よつて勉強の皮切りをしました。もちろんこれは Esp. 學習者のためのものですが、Sveda への入門にも有益で、間もなく女史からの許可と S-ro Frode の援助の約束がとゞいた時には、すでに Sveda への幾らかのなじみができていました。

この後は Frode から送つてもらつた Sveda-Esp. vortaro をたよりに、あちらの國民學校や中等學校の教科書・文法書などでしようと勉強して行つたのですが、女史の作品をその二三の Esp. 譯と對照して讀むことができたのは、翻譯の勉強にもいろいろ役立つたように思います。

しかし以上のことは、字引にせよ、譯書の利用にせよ、Esp. のものが手近に得られたとゆうにとゞまり、必しも Esp. でなくてはならぬわけではないともい

La Revuo Orienta (JEI) (1943.5)

平和祈り自費出版

福岡の翻訳家インガさんが3冊目

八月十五日の終戦を目前にした、太平洋戦争の遂に終結して迎えられることにも驚き、市民の平和祈りを、インガさんは、毎年のように、平和祈りの本を出版した。文庫大の自費出版として、一八八年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八二年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八三年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」を發行する予定だ。戦前が翻訳家として活躍したインガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。インガさんは、あんなに平和を祈る本を出版して来た、戦前が翻訳家として活躍したインガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。

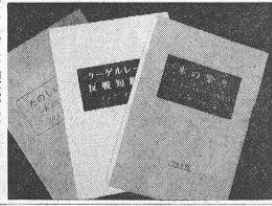
反戦作家に深く共感

亡き妻への哀悼もこめ

福岡の翻訳家インガさんが、八月十五日の終戦を目前にした、太平洋戦争の遂に終結して迎えられることにも驚き、市民の平和祈りを、インガさんは、毎年のように、平和祈りの本を出版した。文庫大の自費出版として、一八八年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八二年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八三年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」を發行する予定だ。戦前が翻訳家として活躍したインガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。インガさんは、あんなに平和を祈る本を出版して来た。インガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。



福岡の翻訳家インガさん。八月十五日の終戦を目前にした、太平洋戦争の遂に終結して迎えられることにも驚き、市民の平和祈りを、インガさんは、毎年のように、平和祈りの本を出版した。文庫大の自費出版として、一八八年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八二年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」、八三年の「ラーゲルレーヴ反戦篇」を發行する予定だ。戦前が翻訳家として活躍したインガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。インガさんは、あんなに平和を祈る本を出版して来た。インガさんは、戦争を体験して、平和を祈る本を出版して来た。



インガさんが毎年出版している「平和祈り」の本。写真：佐藤隆夫

4. イシガ・オサム

- ・ラーゲルレーヴの翻訳数が日本で一番多い
- ・日本におけるラーゲルレーヴ受容を研究するための最重要人物
- ・「大人の本」を多く訳している

ラーゲルレーヴ自身は、「童話作家」と呼ばれることを嫌ったとされ、作家自身が「童話」として書いたのは、『ニルスのおしぎの旅』だけ。ところが、日本では、ラーゲルレーヴが「大人向け」に書いたものも、児童文学や絵本として翻訳されていることが多い。

中丸禎子氏(東京理科大学)のご教示

4. イシガ・オサムと万沢まき

万沢まき 1910.9.12~2009.6.23



熊本第一高女時代にエスペラント独習を試みる。上京して、**東京鉄道局工作部にタイピストとして勤務**。1929年に鉄道省上司の小坂狷二の講習で本格的にエスペラントを学習。日本鉄道エスペラント連盟委員として活躍。1936年日本エスペラント婦人連盟を結成して委員長になり、翌37年「図書館緑化運動」(エスペラント書寄贈運動)を推進。

4. 万沢まき

エスペラント訳されたラーゲルレーヴ作品に感銘を受け、**原文で読むため37年頃から駐日スウェーデン公使館や市河彦太郎(外交官、エスペランティスト)の協力を得て、さらにスウェーデンのエスペランティストからスウェーデン語-エスペラント辞典を送ってもらってスウェーデン語を学習し、翻訳家に。戦後もスウェーデンのエスペランティストの援助を受けて、翻訳活動を再開。**

4. 万沢

ベツレヘムの子供等

—エス文学の紹介—

東京 萬澤まき子

暗れた空に新月が細々とした姿を横たえ、星屑がなつかしい瞬きを送る六月の夜、何か遠い昔の物語に心をひかれる夜です。

友よ、お話しませうか？。1935年以前のお話を、細く一つの星に憧れて東方の學者達が長い旅をした頃の話を。

スウェーデンの女流作家 Zelma Lagerlöf がその美しい筆に托したこの物語をスウェーデンの同志 Oscar Frode が『私達の言葉』で私達に物語つてくれました。それを又今宵、星空を吹き渡る6月の夜風の中で、あなたにお話ししようと思ふのです。

× × × × ×

ベツレヘムの街の城門の外に、きびしい顔をしたローマの番兵が立つて居りました。甲冑に身をかためて鐵の様にみじろぎもしない男でした。絶間なく城門を出入してゐる市民

通りになる管がありませんから、雨が晴れると子供は藁を一々真直に直して歩きました。驚いた事には、百合は少しもそこなはれることなく、一層生々とその白光と芳香をあたりに放ちました。何とも形容出来ない深な感じに打たれた兵士の胸にふとユダヤの古い豫言者の言が浮びました。何時か地上に平和な時代が来る、血も流れず戦ひもなく、人類が兄弟の様に愛し合ふ時代が来る——といふのです。平和な時代！それはこの勇敢な兵士にとつては限りなく恐しい言葉でした。血も戦ひもない世界なぞ彼にとつては想像することもいやなことでした。その最も嫌なことが、最近、この子供を思ひ出す度に彼の胸に浮び上つて彼をひどく苦しめました。そしてこの子供に對する強い憎惡を彼の胸に植付けたのでした。

La Fervojisto 45(1935.6) (日本鉄道エスペラント連盟)

4. 万沢まき

（日曜全） 日二十月五年四十四昭和

タイプのキイを叩く
彼女の女は偉い語學者

鐵道局の萬澤まき嬢

夫人—リュキの本日

既合のデマに迷ふな
横濱競馬を終つて

早月の培養中
一歩の培養中

南支で感激の再會
萬澤の小評議と

『報知新聞』
(1939.5.12)

4. 万

生き甲斐の目標を失ったひとになつてゐたかも知れない。
Mさんは、エスベラントを修得すると、今度は、それを通じて、さまざまな世界の文化に觸れたい、さういふ知らない世界への熱情が、自分のなかに湧いてくるよるこぼれを感じたのである。さうしてエスベラントに翻譯されてゐる世界のさまざまなよい物語のなから、自分のこころの糧を吸収した。

Mさんは、さういふ讀書のなから、自分の生涯の友とすべき、ひとりの女流作家の存在を發見したのである。それは、しばらく前に出版された「女の脚車」の原作者であり、ノーベル賞の受賞者であるスエーデンの女流作家ラゲレフである。そしてエスベラント譯のラゲレフの全著作を讀んでしまつたときに、Mさんは、この生涯の友に私淑するために、今度は、その苦しい生活のなかで、スエーデン語の學習に、勉強の新しい生き甲斐を見いだした。そして次には、さういふ私淑に傾する作家を生んだスエーデンといふところを知りたくなるのは、正しい教養人の眞の勉強の精神である。Mさんは、かういふ風に、流行の教養を追ふよりは、いつも自分の内部の聲に耳を傾けて、教養を得ることのなかに生き甲斐を感じてきた。

現代の日本で、スエーデンなどといふ國について、新しい職業婦人が勉強してゆくためには、十分な設備があるとはいへない。そしてさういふ理由を、いろいろな場合に、口實にして勉強を放棄するひとは、案外すくなくない。しかしMさんは、できる範圍で、それをした。全くしないよりは、できるだけだけのことをするこゝで、道は、ひらけてくるのである。

スエーデンの地理や風土や民族や社會や、さまざま譯べてゐるうち

古谷綱武「教養と生き甲斐」『新女苑』5巻(1941年)6月号

4. 万沢まき 主要訳書

- ・トペリウス『小鳥の歌と物語』(1942)
- ・トペリウス『星の瞳』(1946)
のち岩波少年文庫
- ・トペリウス『雲の中のかじやさん』(1948)
- ・ラーゲルレーヴ『沼の家の娘』(1951)
- ・トペリウス『森の学校 北欧童話』(1958)
- ・ラーゲルレフ『愛のふるさと』(1960)



4. 万沢まき

トペリウス訳者として名前の知れた人だったので、ラーゲルレーヴがきっかけでスウェーデン語を始めたというのは、ちょっと意外

中丸禎子氏(東京理科大学)のご教示

まとめ

非強大言語の文学がエスペラントを通して(契機として)日本に紹介された例をいくつか挙げた。他にも:

邦訳がないボレスワフ・プルス『ファラオ』を読んだことのある日本人の大部分は、おそらくエスペ란ティスト。

エスペラント訳作品からチェコ語翻訳家・チェコ文学者に進んだ栗栖継(『兵士シュヴェイクの冒険』、『山椒魚戦争』岩波文庫など)。

エロシェンコの童話著述、秋田雨雀や魯迅・周作人兄弟とのつながり。秋田の戯曲『骸骨の舞跳』(関東大震災時の朝鮮人虐殺がテーマ。掲載誌は発禁処分)の守随一によるエスペラント訳をパリで入手した巴金が中国語に重訳。

まとめ

日本におけるエスぺラント受容に関連して、多くの事実が知られていない。エスぺランティスト自身も多くの事実を知らない。

結果として、日本近現代史のなかでのエスぺラントが果たした役割は過小評価されている。一つ一つとしては大きな役割を果たしたとまでは言えないが、**文学をはじめとして様々な分野の多くの場面で橋渡し言語の役割を実際に果たしてきた**とは言える。

謝辞

下記の機関には、調査時に格別のご配慮をいただきました。深く感謝の意を表します。

- ・ オーストリア国立図書館 計画言語コレクション
- ・ 日本エスぺラント協会
- ・ 国立ハンセン病資料館